
『大原社会問題研究所雑誌』2003年度総目次

- (1) 2002年度の総目次は、2003年3月号(No.532)を参照されたい。
- (2) 2001年度の総目次は、2002年3月号(No.520)を参照されたい。
- (3) それ以前の総目次の所在については、2002年3月号(No.520),
1992年3・4月合併号(No.400・401)を参照されたい。

なお、大原Webサイト(<http://oisr.org/>)でも、バックナンバー総目次を掲載している。さらに、1997年4月号以降については、雑誌本体のオンライン・ジャーナル化、公開を行っている。

【2003年4月号 No.533】

【国際労働問題シンポジウム】

協同組合の振興のために ILO新勧告と日本

ILOにおける審議をめぐって 水野順一郎

労働者の立場から 梅村敏幸

使用者の立場から 白井啓能

ILOの新勧告と日本 中川雄一郎

質疑応答

参考資料 Recommendation 193. 協同組合の促進に関する勧告(193号) 発展途上
にある国の経済的及び社会的開発における協同組合の役割に関する勧告(127号)

研究ノート 戦後社会運動史資料論 鈴木茂三郎(4・完) 鈴木徹三

書評と紹介 池田信著『社会政策論の転換 本質・必然主義から戦略・関係主義へ』 高田一夫

船橋晴俊・角一典・湯浅陽一・水澤弘光著『《政府の失敗》の社会学 整備新幹線建設と旧
国鉄長期債務問題』 澤喜司郎

伊豫谷登士翁著『グローバリゼーションと移民』 北村暁夫

岡崎鶴子著/刊行委員会編『追想 岡崎精郎』, 岡崎和郎著/和田書房・月刊『土佐』編集室編
『高知県農民運動史』 横関 至

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2002年12月

【2003年5月号 No.534】

【特集】パート労働の国際比較(1)

ILO労働基準とパートタイム労働の新潮流 山岡熙子

男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開 パートタイム労働理事会指令と欧

州裁判所判例(上) 柴山恵美子

研究回顧 労働の社会化と社会的経済 富沢賢治

証言：日本の社会運動 食糧メーデーと天皇ブラカード事件（1） 松島松太郎氏に聞く

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（5） コーネル大学産業・労使関係学部カサウ
ッド図書館とキールセンター 五十嵐仁

書評と紹介 近藤敦著『外国人の人権と市民権』 門田 孝

エリナ・ハーヴィオ・マンニラ著 / 橋本紀子・森口藤子・橋本美由紀訳『仕事と家族と幸福感
北欧・東欧5大都市の比較調査 高橋睦子

梶田孝道編著『国際化とアイデンティティ』 初瀬龍平

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2003年1月

【2003年6月号 No.535】

【特集】パート労働の国際比較（2）

オランダにおける働き方の多様化とパートタイム労働 正木祐司・前田信彦

ドイツ新パートタイム労働法制の2年間 宮前忠夫

男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開 パートタイム労働理事会指令と欧
州裁判所判例（中） 柴山恵美子

韓国における労働市場の柔軟化と非正規労働者の規模の拡大 横田伸子

証言：日本の社会運動 食糧メーデーと天皇ブラカード事件（2） 松島松太郎氏に聞く

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（6） マサチューセッツ大学アマースト校図書館
とスミス・カレッジの資料館 五十嵐仁

書評と紹介 田中ひかる著『ドイツ・アナーキズムの成立 《フライハイ特派》とその思想』 三宅 立

朝治武著『水平社の原像 部落・差別・解放・運動・組織・人間』 黒川みどり

高木郁朗著『労働経済と労使関係』 早川征一郎

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

所 報 2003年2月

【2003年7月号 No.536】

【特集】パート労働の国際比較（3）

「意識」としての労働政策 デンマークのソーシャル・アイデンティティの形成 佐藤とよ子

日本における労働力の重層化とジェンダー パートタイム労働を中心に 三山雅子

論 文 韓国財閥企業における大卒ホワイトカラーの賃金管理 S化学の事例 佐藤静香

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（7） アムステルダム博物館とフィンランドの
労働組合中央組織 五十嵐仁

書評と紹介 相馬健次著『戦後日本生活協同組合論史 主要書籍を読み解く』 小関隆志

竹信三恵子著『ワークシェアリングの実像 雇用の分配か、分断か』 逢見直人

平岡 公一編『高齢期と社会的不平等』 鎌田とし子

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2003年3月

【2003年8月号 No.537】

【特集】パート労働の国際比較（4）

フランスのパートタイム労働 個人の労働時間短縮と半失業の狭間で 鈴木宏昌
男女均等待遇原則の主流化に向かってEU労働法制の展開 パートタイム労働理事会指令と欧
州裁判所判例（下） 柴山恵美子

特別寄稿 産業報国会に対する官僚統制の分権構造 桜林 誠

桜林誠著作目録

証言：日本の社会運動 食糧メーデーと天皇ブラカード事件（3・完） 松島松太郎氏に聞く
書評と紹介 野村一夫著『インフォアーツ論 ネットワーク的知性とはなにか？』 加藤哲郎
今村寛治著『《労働の人間化》への視座 アメリカ・スウェーデンのQWL検証』 浅生卯一
山本恵子著『行財政からみた高齢者福祉 措置制度から介護保険へ』 伊藤周平

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

OISR.ORGの窓 [4] 河上肇の直筆詩「同志野坂を迎へて」の公開について 早川征一郎

所 報 2003年4月

【2003年9・10月号 No.538・539】

【特集】協調会の研究

協調会研究の現状 高橋彦博
戦時下の協調会と村山重忠 梅田俊英
町田辰次郎と協調会 横関 至

海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（8） フィンランド・タンペレで開かれた労働史
研究機関国際協会大会（その1） 五十嵐仁

読書ノート ある専門訳書における『擬人法への蹉跌』 ディディエ・ドマジエール著，都留民子訳『失
業の社会学』（法律文化社，2002年2月刊）によせて 長部重康

書評と紹介 吉田健二著『戦後改革期の政論新聞 『民報』に集ったジャーナリストたち』 海老沢智士
洞口治夫著『グローバリズムと日本企業 組織としての多国籍企業』 安保哲夫
西成田豊著『中国人強制連行』 内海愛子

禹宗杭著『《身分の取引》と日本の雇用慣行 国鉄の事例研究』 野村正實

学会動向 新しい社会政策の構想 20世紀的前提を問う 社会政策学会第106回大会を振り返って

白井邦彦

社会政策学会会員研究業績一覧

社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所

法政大学大原社会問題研究所2002年度の歩み

所 報 2003年5・6月

【2003年11月号 No.540】

【特集】中小企業の経営と労働（1）

- 「グローバル経済」下での国内製造業中小企業の存立展望と中小企業政策への含意 渡辺幸男
経済構造転換と地域経済振興 吉田敬一
- 論文 新労働協約の締結と平和的労使関係の形成 川崎製鉄争議（1948年）とその帰結をめぐる
濱田信夫
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（9） フィンランド・タンペレで開かれた労働史
研究機関国際協会大会（その2） 五十嵐仁
- 書評と紹介 都留康著『労使関係のノンユニオン化 ミクロ的・制度的分析』 白井邦彦
中川雄一郎編『生協は21世紀に生き残れるのか コミュニティと福祉社会のために』/野村
秀和編著『生協への提言 難局にどう立ち向かうか』 手島繁一
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所報 2003年7月

【2003年12月号 No.541】

【特集】中小企業の経営と労働（2）

- 日本経済の再生と中小企業運動・序説 大林弘道
- 日本における中小企業の研究動向 主体、意識、背景、方法、課題 寺岡 寛
- 論文 ドイツにおける協約システムの分散化と企業別労働協約 食品加工産業における事例研究
大重光太郎
- 批判への応答 中国産業社会の一断面 拙編著の書評へのコメント 小林謙一
- 書評と紹介 松村高夫・解学詩・江田憲治編著『満鉄労働史の研究』 高橋泰隆
嶺学・時田純・季羽倭文子編著『高齢者の在宅ターミナルケア その人らしく生きることを
支える』 広井良典
工藤庸子著『ヨーロッパ文明批判序説 植民地・共和国・オリエンタリズム』 佐伯哲朗
- 社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
- 所報 2003年8月

【2004年1月号 No.542】

- 講演 インターネットにおける学術情報公開の現状と課題 アカデミック・リソースの『地図』を
書く 二木麻里
- 論文 日本人の労働観 意識調査にみるその変遷 清川雪彦・山根弘子
パート労働者増加の要因 企業規模別による時系列分析 豊田奈穂
介護サービスの限度利用と金銭的価値に関する研究 墨田区の個票データを用いた実証分析
塚原康博
- 海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（10） スウェーデンの労働資料館と労働組合中
央組織 五十嵐仁

書評と紹介 五十嵐仁著『戦後政治の実像 舞台裏で何が決められたか』 中馬清福
伊藤周平著『《構造改革》と社会保障 介護保険から医療制度改革へ』 武田 宏
倉田剛著『リバースモーゲージと住宅 高齢期の経済的自立』 大山 博
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2003年9月

【2004年2月号 No.543】

【特集】中小企業の経営と労働（3）

中小企業の若年者就業状態と労働組合等の取り組み（上） 相田利雄
市民参加型の産業振興の試み 三鷹市産業振興計画づくりの事例 小谷絢司
論 文 「アリーナ転換」としての住民投票 徳島市・吉野川可動堰反対運動の事例から 高木竜輔
海外研究事情 世界の労働関係研究所・資料館・図書館（11） ノルウェーの労働資料館
と労働組合中央組織 五十嵐仁
批判への応答 本誌538・539号の長部重康著読書ノート「ある専門訳書における『擬人法への蹉跌』」に寄せて
都留民子
書評と紹介 横関至著『近代農民運動と政党政治 農民運動先進地香川県の分析』 中筋直哉
清川雪彦著『アジアにおける近代的工業労働力の形成 経済発展と文化ならびに職務意識』
絵所秀紀

佐口和郎／橋元秀一編著『人事労務管理の歴史分析』 久本憲夫
大野正和著『過労死・過労自殺の心理と職場』 鈴木安名
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
所 報 2003年10月

【2004年3月号 No.544】

論 文 TUCと1944年国民保健サービス構想 伊澤 誠
釜石製鉄所における三鬼隆と生活構造 戦前期における企業人の社会的形成とアソシエーシ
ョン 高木俊之
片山潜, 在米日本人社会主義団と初期コミンテルン 山内昭人
書評と紹介 千田忠男著『現代の労働負担』 酒井一博
平岡公一著『イギリスの社会福祉と政策研究 イギリスモデルの持続と変化』 星野信也
横山文野著『戦後日本の女性政策』 浅野富美枝
小熊英二著『民主 と 愛国 戦後日本のナショナリズムと公共性』 五十嵐仁
社会・労働関係文献月録 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』2003年度総目次
所 報 2003年11月